平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語6 (English 6) 【吉川クラス】			授業コード	A028063
担当教員名	吉川　知子			科目ナンバリングコード	A30310
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	修生は全てプレースメントテスト(レベルチェックテスト)を受験しそのスコアに従って決められた講義に出席する。				
受講心得	講義スタイルではなくタスクを実際に行うことにより進んでいく授業スタイル。毎回完全参加型で評価も参加意欲に重点を置いている。				
教科書					
参考文献及び指定図書					
関連科目					

授業の目的	英語1から4までで学んだ文法知識を生かし、これまで学んだスキルを活かしクラス内のグループ別にプロジェクト(Video Clip)を完成させる
授業の概要	英語の表現や語彙を増やし、これまでに習得したスキル、または学生同士のアクティビティーで学んだものを発展させ、グループ単位でのプロジェクトを完成させる

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : Placement Test	
第 2 週 : 英語6の受講心得等の説明など。自己紹介	
第 3 週 : 個人プレゼンテーション self introduction/　チーム編成　/　テーマ選択 Introduction of---	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第 4 週 : プロジェクト作成1 グループでテーマに沿ったtopicを選び、実際にVideo Clip(またはShow and Tell形式のプレゼンテーション)作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第 5 週 : プロジェクト作成2　グループで実際にVideo Clip(またはShow and Tell形式のプレゼンテーション)作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第 6 週 : プロジェクト作成3　グループでVideo Clip(またはShow and Tell形式のプレゼンテーション)作成を完成させる。	プロジェクト発表準備

第 7 週 : プロジェクト発表1 ／ 反省、評価 ／ 新グループ編成	自己反省レポート
第 8 週 : テーマ選択 My favorit is--- ／ プロジェクト作成1グループでテーマに沿ったtopicを選び、実際にVideo Clip（またはShow and Tell形式のプレゼンテーション）作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第 9 週 : プロジェクト作成2 グループで実際にVideo Clip（またはShow and Tell形式のプレゼンテーション）作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第10週 : プロジェクト作成3 グループでVideo Clip（またはShow and Tell形式のプレゼンテーション）作成を完成させる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第11週 : プロジェクト発表2 ／ 反省、評価 ／ 新グループ編成	自己反省レポート
第12週 : テーマ選択 About NBU ／ プロジェクト作成1 グループでテーマに沿ったtopicを選び、実際にVideo Clip（第3プロジェクトに関してはShow and Tell形式のプレゼンテーションは認められない。Video Clipのみ）作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第13週 : プロジェクト作成2 グループで実際にVideo Clip作成にあたる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第14週 : プロジェクト作成3 グループでVideo Clip作成を完成させる。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第15週 : プロジェクト完成 ／ 発表準備 最終週での発表が滞りなくできるようにプロジェクトを完成、発表準備を確実にできるようにしておく。	グループ全員が参加すること。英作文の添削や発音指導などは講義中に済ませる。
第16週 : プロジェクト発表会	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	クラス外、校外、または国外でも目にされる可能性のある各々の英語をふさわしいレベルにしようとする努力を欠かさないこと。
【知識・理解】	それぞれの英語力を最大限に利用すること。
【技能・表現・コミュニケーション】	わかる、わからないなどの意思表示、積極的な質問等でコミュニケーションを図る。発音および文
【思考・判断・創造】	自主的に考えそれを他の学生とシェアする。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	50点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			20点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点		

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	評価の実施方法と達成水準の目安
発表・その他（無形成果）	講義に積極的に参加し、基本的に毎回講義に出席していること、発言すること。